

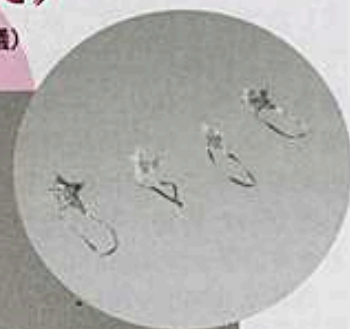
自治連わこう

平成21年2月1日

第4号

新春凧上げ大会(荒川河川敷で)

地域・PTA・個人参加……(主催 青少年育成和光市民会議)
(協力 自治会連合会)



越後山自治会もちつき大会



白三西牛房自治会もちつき大会





謹賀新年



和光市自治会連合会
会長 浪 間 貞

新年明けましておめでとうございます。
皆様方にはお健やかに新春をお迎えの
こととお喜び申し上げます。

旧年中は連合会事業にご理解あるご協力をいただき、お礼申し上げます。

本年度事業目標の一つであります、各地域の防災、防犯活動の啓発に努めるという事業につきましては昨年、新倉地区、下新倉地区、白子北地区で多発しましたオートバイ盗、車上ねらい、侵入盗等に対して、各自治会長、防犯推進員、交番連絡協議委員と警察が一体となり、緊急対策検討会を開催し、各地域でパトロール等防犯対策を強化した結果、大きな成果を得ることが出来ました。これもひとえに参加いただいた皆様の努力のたまものと感謝いたしております。

今後も住み良い街、安心安全の街を目指して事業をすすめてまいります。皆様のご理解あるご協力を賜りますようお願いするとともに、本年も皆様方のご健勝、ご多幸を祈念申し上げ挨拶いたします。



和光市長
野 木 実

新年明けましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げま

す。

旧年中は市政各般にわたり、皆様方の温かいご理解ご協力を賜り、心からお礼を申し上げます。

昨年東京メトロ副都心線が開通し利便さが増したことから、より一層「便利で心地よい和光の実現」のための整備が不可欠となっております。そのため本年は、駅北口土地区画整理事業の推進、駅南口広場の改修工事、和光北インター地域・白子三丁目区画整理事業を展開してまいります。

また、和光市は県内での平均寿命は高く、平均年齢は2番目に若いということです。人口もますます増加しております。これは「お年寄りが元気で、かつ若い活力が溢れているまち」ということの裏づけでもあるかと思われま。今後も「元気な市民が多いまち」の実現に向かって、貴会と連携をとり、市民と協働したまちづくりを進めてまいります。

本年も変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴会のますますのご発展と皆様方のご健勝を心からお祈りいたします。

事業計画

平成20年度後期地区懇談会

2月10日(火)から2月17日(水)

自治会連合会主催で、和光市の5地区(新倉南地区・新倉北地区・下新倉地区・白子南地区・白子北地区)単位で市側と各地区自治会長が集い、防災・防犯・道路行政・ごみ問題・集会所施設などをテーマに各地区の諸問題及び市全体の問題について忌憚のない意見交換会を行います。また、平成21年度和光市予算について市から説明を受け、予算の状況を自治会として研究し、和光市をより良いまちとすべく懇談会を次の日程にて行います。なお、各自治会では、地区懇談会を前に、役員会などで様々な問題点、要望などを整理して

出席していただき、より有意義な懇談会にしたいと思いますので、集約方よろしくお願いいたします。

- ・2月10日(火)新倉南地区 本町地域センター
 - ・2月12日(木)白子南地区 総合福祉会館
 - ・2月13日(金)新倉北地区 北口区画整理事務所
 - ・2月16日(月)下新倉地区 中央公民館
 - ・2月17日(火)白子北地区 白子コミュニティセンター
- 時間は、19時から21時

クリーン・オブ和光(ごみゼロ運動)

平成20年度最後の「ごみゼロ運動」を実施します。まだ、寒さ厳しい日曜日の朝ですが、自治会の皆様の積極的な参加をお願いいたします。3月15日(日)雨天のときは3月22日(日)

自治会連合会県外視察研修報告

研修会報告 浅久保町会自治会長 伊藤 芳夫

毎年、他府県の実績を上げている自治会の視察見学を計画されていますが、今年度はNHKテレビの「ご近所の底力」という番組で放送された「市川市」と「成田市」を訪問することになりました。

この番組は、地域住民が自分たちの手で「住みよい町づくり」のために、行政および多方面に協力を求め、成果を上げている市町村を取材し、全国に紹介してい

るもので、大都市の「目を見張る大事業」ではないが、本当に住民の暮らしにプラスになる「心の通った取り組み」を伝えています。

両市とも、自治会活動の中で「直接、住民の負担」になる問題を数人のグループから相談し合い、少しずつ理解を求め、自治会全体に承認されるよう時間をかけ話し合い、住民全体で行政に働きかけ、多くの援助を得られるまでになっています。

市川市「北方東部自治会」では、自治会役員のたく

さんある仕事のうち、役員でなければできない仕事と、簡単な事務仕事（役所への書類提出や配布物などの回覧）に分け、後者を事務員に任せていることです。このことにより、役員活動の時間が多くなり、「住民の要望に多く応えることができるようになった」とのことでした。

事務員の賃金については、各世帯からの会費のうちから支払われているとのことでした。（一世帯当たり26円の負担）

成田市「玉造7丁目自治会」では、役員責任の重さを軽減させ活動量を増やせるように「ボランティアグループ」の協力を得て「目的別チーム」を作り、自分の関心のあることだけをやってもらうこと。で、制約のない自発的な活動なので大きな成果を得られるようになっている。その結果、自治会役員負担が減り、活動も活性化しているとのことでした。

また、行政も「本音」で「市民の力になる」ことを真剣に取り組み、協力し財政のやり繰りをし、自治体の規模は違いますが、多く（多額）の援助（補助金の交付）を行っていました。

当「浅久保町会」も平成16年度より役員責務軽減のため、成田市「玉造7丁目自治会」と同様の「行事担当役員制度」を取り入れ、総会にて選出・承認された役員が「計画・実行」しています。その結果、新しい企画が実行されるような「視察研修」に参加したいと思っています。

県外視察旅行に参加して

漆台向坂自治会会長 横路 秀雄

旅をする度に若返ります。まして、研修の旅となれば尚更である。新しい知識が入る度に古い知識を押し出し脳が活性化。知識は活性剤だと思っている。「NHKのご近所の底力」で今年5月25日に放送された、市川市と成田市を訪問した。

当時市川市は、「自治会はつらいよ、選ばれたら終身刑となる」と放送され、どの地域も役員は責任が重く、仕事が忙しそうと、敬遠され、なり手がいない。

和光市の自治会の中にもその傾向にあり、当自治会も制度や当番制で何とか対面を保っている。

これを続ける限り、自治会の発展はない。「団体の長の器量以上によくない」のが方針展開として、一般論である。



方針を示し、行動し、完結して評価する。この2期4年が適任と思っている。

伺った話を要約すると、1500世帯の自治会で、多くの仕事量を消化するために、事務員を置いたことである。「週5日・3時間で月4万円支給」これで、役員の仕事量を半分にした。現在では、事務員さんが字引きとなって、なくてはならない人となっている。1世帯の負担は月26円とのことでした。

規模の小さい自治会では、再編しない限り、費用の面で望み薄と感じた。

成田市では、ボランティアと自治会が一緒になって「目的別の役割分担」をしている。たとえば、防犯チーム・リサイクルチーム等、住民は感心のある事業に参加することで、やる気を出せる仕組みとなっている。両市共、和光市の数倍の規模があり、行政の担い手として自治会が活用されている。

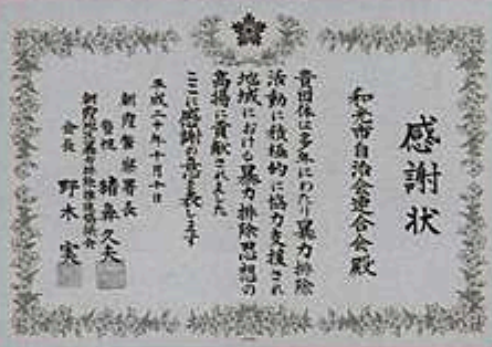
成田市では、自治会の長は、行政協力員として、報酬があり、防災資機材も35万円以内の常備品が支給されている。補助金の制度も、よく出来ていて参考になった。人の役に立ちたいとみんな思っている、喜ばれ、礼をいわれ、褒められることはうれしい。

研修を受けながら、規模は小さくとも、我が和光市の将来展望は、福祉重視型なのか、都市整備型なのか、重点施策は、その優先順位はと、走馬燈のように駆け巡った。

昨年、佐久市の研修で、市議会と自治会が棲み分けをした、行政の一翼を担って、要望・要請事項は自治会、議会には、高度な議論を期待していると、勉強した。知識を得て、行動しなければ、知識を得たことにならない。

自治会連合会と2自治会が表彰を受ける

平成20年10月10日、朝霞地区暴力排除推進大会で、自治会連合会は、朝霞警察署長・朝霞地区暴力排除推進協議会長より、多年にわたり暴力排除活動に積極的に協力支援され地域における暴力排除思想の高揚に貢献されたことから表彰を受けました。また、平成20年11月16日には埼玉県自治体消防60周年記念において、消防防災に関する業務に貢献し、消防の重要性を認識され消防防災意識の高揚、またその功績が特に顕著で、他の規模となることから、消防防災関係功労者及び功労団体として、協和会・白三西牛房の自主防災組織が埼玉県知事より表彰を受けました。



自治会活動報告

七区自治会

夏まつり 7月20日 会長 木田 亮



七区の「夏まつり」は和光市駅前広場と本田通りをメイン会場にし、自治会、育てる会、青年会、高齢者「七福の会」が一体となって実施した。

7月13日(日)に駅前広場・駅前通り・本田通りに提灯付けをし、まつりムードを盛り上げた

本番の7月20日(日)は、午前9時に御岳・榛名神社にて、御輿・山車に御霊入れを行う。午前中は、七区地区内を育てる会の子ども達により、山車を引きまわし、まつりを盛り上げた。

本番は、午後3時、和光市駅前広場で、第三小学校児童による「和太鼓」の力強い演奏により、大神輿が七区青年会を中心に、新倉、下新倉、白子各青年会の皆様のご協力を得て、駅前広場・駅前通り・本田通りを渡御する。午後5時からは、「歩行者天国」になった本田通りで、第二中学校吹奏楽部による、素晴らしい演奏が行われた。午後6時・7時には、本田技術工業株式会社のご協力による、迫力あるオートバイの曲乗りショーが披露され、大勢の方が、驚きと感動の時を過ごした。

今年は、駅前通りから本田通りに会場は変わったが、人また人で通りはいっぱいになり、大盛況で終わることができました。

浅久保仲町会自治会

浅間神社 夏まつり 7月20日 会長 牧島徳久



浅久保仲町自治会と育てる会は、共に会員はひとつになり、各活動を運営している自治会はなにをするにもかならず報告しあいおこなっています。夏まつり、も

ちつきその他行事には、他の自治会との連絡をとり協力しあって参加をしています。

特に、他の自治会、育てる会にとけこんで行う夏まつりでは交通安全第一目標に本年も参加、協力して事故のない様事前に注意しあい、他の自治会の集まりにも協力し、今後も良い活動出来る様に思っています。

グランヴィータ自治会

2008グランヴィータ秋祭り

9月6日

会長 桐淵 信男



今回の秋祭りも管理組合・理事会の共催、及び第五小学校の地区委員のお母様方の協力の下、大勢の方々の協力を受け「祭り」の準備も順調に進み、今回で4回目となる行事も着実に定着してきた感がある。だが、今回一番心配したのは、8月後半から長雨が続き、当日も雨が降る事であった。直前の天気予報でも「曇りのち雨」との予報なので和光市社会福祉協議会から、カラフルなテント(大・小の2タイプ)を幾つも急速、借用させて頂いた。その恩恵で幸にして第1部の子供みこし(和光市から借用)の間も、また、第2部のピア・ガーデンの間もなんとか雨にあわずに済み、お祭りの後片付けが済んだところで、それを待っていたかのように、かなりの雨が降り出して来た。

また年々、模擬店の数も増え今回の目玉として「カレーライス」を用意しかなりの人気を呼び、お子さんが楽しめるものとして「ヨーヨー釣り」を用意したが、ヨーヨーを膨らます作業が追いつかない場面もあった。第2部の後半には、第五小学校のお母様方を中心とした初めてライブ演奏を行い、最後の曲(踊るポンポコリン)では多に盛り上がった。今後は更に多くのグランヴィータの皆様に参加していただき、楽しんで頂けるような構成を考え、実現に努めたい。

編集後記

「自治連わこう」第4号の発刊にあたり、ご協力いただきました関係各自治会、地域の方々に対し感謝を申し上げます。「自治連わこう」は、各自治会員はもとより多くの市民にとっても大切な広報誌です。今後とも各地域で実施してきた伝統行事、諸活動、新しい考え方に基づいて開始する諸行事、諸活動を積極的にとりあげ多くの市民に紹介していきたいと考えています。引き続き大勢の自治会員、市民のご理解ご協力をお願いします。

編集委員 中村幸夫